

教科	数学	科目	数学	単位	3単位	年次	中学2年
使用教科書	未来へひろがる数学2(啓林館)						
副教材	新中学問題集 発展編 数学2年						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

問題集の宿題を毎日出すので、確実に取り組むようにしましょう。分からない問題は、授業の前後に質問したり、友達に聞いたりするなどして自ら進んで分からないところを解決しようとしてください。また、授業の際には、必要だと思う所をメモするなど、自ら進んで授業に参加してください。

2. 学習の到達目標

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 主 旨	○個別の知識及び技能の習得状況について評価する。 ○それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価する。	○各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかどうかを評価する。	○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。
評 価 方 法	定期テスト 小テスト等	定期テスト 小テスト等	課題提出 レポート課題(出た場合のみ)

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	1章式の計算	式の計算			○	文字を用いた式のよさを実感して粘り強く考えることができる。	課題提出
5	2章連立方程式	連立方程式			○	連立方程式のよさを実感して、粘り強く考えることができる。	課題提出
6		連立方程式の利用			○		課題提出
7	3章一次関数	一次関数とグラフ	○	○	○	一次関数のよさを実感して粘り強く考えることができる。	課題提出、テスト
8		一次関数と方程式			○		課題提出
9		一次関数の利用			○		課題提出
10	4章図形の調べ方	平行と合同			○	図形の性質などを証明することのよさを実感して粘り強く考えることができる。	課題提出
11	5章図形の性質と証明	三角形、四角形の証明			○	図形の性質などを証明することのよさを実感して粘り強く考えることができる。	課題提出
12			○	○	○		課題提出、テスト
1	6章場合の数と確率	場合の数と確率			○	場合の数をもとにして得られる確率のよさを実感して粘り強く考えることができる。	課題提出
2	7章箱ひげ図とデータの活用	箱ひげ図			○	箱ひげ図や四分位範囲のよさを実感して粘り強く考えることができる。	課題提出
3	1年間の振り返り	2年生の全範囲	○	○	○	2年生の範囲の復習を行い、知識や技能、考え方を身に着けることができる。	課題提出、テスト

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材で全ての観点について評価することとなるが、学習内容・小単元の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点について○を付けている。